

## 令和6年度 第3回社会教育委員会議 概要

- 開催日時 令和7年3月27日(木) 午後7時30分～
- 開催場所 市役所4階会議室
- 出席した委員 13名参加
- 出席した職員 社会教育課長・社会教育課課長補佐・社会教育課指導主事
- 資料
- ・第3回社会教育委員会議次第
  - ・研修資料「社会教育委員の役割について」
  - ・令和7年(令和6年度)柏原市成人式～はたちの集い～参加状況
  - ・社会教育委員会議より選出する委員名簿

## 【会議の要旨について】

1. 開 会
2. 議長あいさつ
3. 会議案件

### 研 修 会

テーマ 社会教育委員の役割について

講 師 柏原市社会教育委員会議 議長 野田 文子 氏

資料に沿って、「社会教育委員の役割について」というテーマで講演いただく。  
(以下、講演概要を記載)

#### 1、社会教育法の構成

- ・第1章 社会教育の定義と国・地方公共団体の任務
- ・第3章 社会教育団体
- ・第4章 社会教育委員の設置

※社会教育委員に関わる上記3章について焦点化し、解説していく。

#### 2、「社会教育」とは

- ・定義「青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動」
- ・社会教育は、学校教育、家庭教育に並ぶ1つの分野である。
- ・国や地方公共団体は、文化的教養を高め得るような環境の醸成に努める。

#### 3、市町村教育委員会が行う事務

- ・19項ある。(社会教育に必要な援助・社会教育委員の委嘱・公民館の設置と管理・講座/討論会/講習会/講演会/展示会等の開催と奨励・ボランティア活動/社会奉仕体験活動/自然体験活動…など)

#### 4、「社会教育関係団体」について

- ・定義「公の支配に属しない団体で、社会教育に関する事業を行うもの」
- ・補助金の交付→報告

#### 5、社会教育委員の設置と職務

- ・教育委員会への助言
  - 諸計画の立案：生涯学習基本計画の策定等への参画
  - 諮問への答申：教育委員会が必要と判断した諮問事項に対する答申
  - 研究調査

(つづき)

- ・教育委員会の会議に出席し、意見を述べるができる
- ・社会教育関係団体等への助言と指導：行政と住民をつなぐ役割

#### 6、都市部の実践例から見る活動とねらい

- ・近畿大会 2024「京都市 山鉾の復活」：地域の思いからはじまる協力の輪
- ・近畿大会 2023「兵庫県 カフェ」：居場所づくり→活動が生まれる
- ・近畿大会 2024「奈良県 学校と地域の連携」：人が集まる→交流の拠点づくり

#### 7、環境醸成の課題

- ・地域の活動を奨励する
- ・既存施設/設備を活性化させる
- ・行政と地域ボランティアの協働による活動を多様化させる。

地域の間人間関係の中から生み出されてくる力は大きい。交流していくことから始めていければ。また、さまざまな活動を「社会教育」の視点で見ていくことが大切。

### 報告事項

※講演の流れで、次第から順序を変更し、(3)の「各委員からの報告」を先に行った。

#### (1)各委員から各種委員や団体についての報告

(委員より)

- ・こども会育成連絡協議会(以下、市こ連)の目的は、「こども会の連携」。町会ごとにある単位こども会がなくなると、市こ連もなくなる。R 6は、6単位(106名)。育成者は子どもの数とほぼ同数。10年前は25単位(636名)、20年前は48単位(1750名)だった。減少の理由はさまざまあると思うが、単位こども会の活動に加え、市こ連の活動となると負担が大きく、役員になることを避けたいということもある。また、習い事や娯楽が多様化していることもある。R 7は。単位こども会はすべて市こ連を抜けることになり、玉手小学校区(石川・円明・片山の合同)のみ30名程になることが決定している。そこで、考えたのが市こ連こども会である。単位こども会に属していなくても、市こ連の行事に参加できる。現在4名応募があった。5月11日に説明会を実施する予定。また、鼓笛隊加入児童に関しても、各小学校区子ども会に所属し、そこから鼓笛隊に参加するというかたちを考えている。こうすることで、「こども会の連携」という目的を維持できると考えている。鼓笛隊は、小学生は10名程度で、OBの助けを借りながらやっている状態だが、今年の万博でも演奏するなど、さまざまなイベントで活躍してくれているので、今後も維持していきたい。大阪府下でも10、市町村で市こ連が無くなっている。なんとか柏原はふみとどまり

たい。また、ご協力できるところはお願いします。

- ・健全育成協議会では、3月に役員会と拡大総括会議があった。新旧会長が集まったが、ほとんどの会長が参加してくれて、協議会会長を中心に力を入れている。30、40代の会長も増えて、時代の変化を感じる。会議の中で、以前から続いてきた活動に関して「飽きた」という発言があり、悲しかった。
- ・健全育成協議会の会議内で「飽きてきた」という発言はあったが、反面、とても良い取り組みだと言ってくれる人もいた。「飽きてきた」という発言の向こうには、コロナ禍を経て、いろいろな活動ができる社会になったからこそ、「新しいこともやっていきたい」という思いが見えると思う。各校区健全の会長間の横のつながりも強くなっていると思う。フェスタも各地で盛り上がっているが、さらに「飲食もやりたい」という意見も上がってきている。アレルギーや食中毒等、考えなければならぬ点もあるが、安全に実施してほしい。また、今年度は南小で防災体験合宿を実施したが、参加児童だけでなく、スタッフとして参加した地域の人たちからも非常に好評をいただいている。いざという時のためになるプログラムが実施されており、R7は下小で実施するが、さらに充実させていきたい。
- ・青少年指導員協議会では、各健全育成会の一員として、それぞれの校区で地域活動に参画している。
- ・公民館運営審議会では、令和8年度は工事のためにさまざまな講座やクラブの活動場所を移さなければならず、その調整をしているところだと聞いている。そういうこともあるのか、会員さんが減っている現状である。文化的活動の縮小を感じ、寂しさもある。
- ・放課後子ども教室推進事業運営委員会では、市内10か所で開催される教室(のびのびルーム)の代表者にまず説明会を実施している。また、8月と2月には、教室スタッフらが参加する交流会を開催。今年度の実績は、回数160回(+21)、ボランティア数886人(+169)、参加児童数は3,800人を超えている。内容的にも広がりが見られた。今後も子どもたちの居場所づくりが充実していったらいい。
- ・PTA協議会ですが、新年度会長が代わるのでこの社会教育委員も変更になる。さまざまなつながりを感じられる1年でした。今年度ありがとうございました。

(2) 令和7年(令和6年度) 柏原市成人式～はたちの集い～参加状況 (資料1)  
(事務局より資料3に沿って説明)

- ・昨年度より、参加数は減少しているが、参加率は増加している。
- ・来年度は、リビエールホールの休館に伴い、1月12日(月)に柏原中学校体育館で開催。運用については、現在検討中である。

(3) 令和7年度 教育委員会の主要事業計画と予算

(事務局より説明)

- ・例年はこの第3回の会議で新年度の予算について報告するが、令和6年度、本市は市長選挙の年となっており、選挙時期等の関係から政策的な判断が出来にくい等の理由により、令和7年度の当初の予算は、必要最小限度の義務的な経費など一部のみで、次回、6月に開催される議会において、社会教育団体の各種補助金などを含むその他の予算が決定される予定。よって、次年度の社会教育委員会議会で「令和7年度の教育委員会の主要事業計画と予算」については報告する。

(委員より)

- ・来年度は、この社会教育委員会議会で講演会等を実施する予定である。予算の確保を。

4. 閉 会

副議長あいさつ